



政策金利据え置きと今後の相場見通しについて

<金融政策について>

オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)は6月4日の金融政策決定会合において、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを年率2.75%に据え置くことを決定しました。これはほぼ市場の予想通りでした。RBAは声明の中で、現在の金融緩和政策が適正なインフレ率の範囲内で実施され、景気の下支えに寄与するであろうとしています。据え置き発表後の豪ドルはやや強含みで動きました。

次回の金融政策決定会合は、7月2日に予定されています。

<今後の見通しについて>

オーストラリアの金融市場は引き続き、中国経済、国際商品市況、日米の株式市場の動向や金融政策に左右される動きとなると思われます。しかし以下の点から、豪ドルは長期的に、堅調に推移するという判断を変えてはいません。

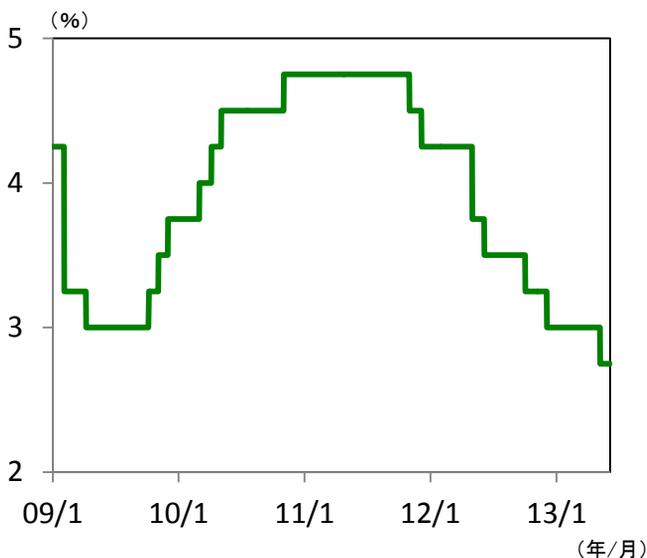
- ①前回(5月7日)の利下げ後の豪ドル安で、RBAが豪ドル高是正のための利下げを早急に行う必要性が低下していること
- ②主要先進国と比べてオーストラリアは依然として高い金利を維持できていること
- ③これまでの金融緩和政策が景気の下支えとして働いており、オーストラリア経済は内需を中心に回復してきていること
- ④オーストラリア政府は9月の総選挙に向け、持続的な景気回復のための積極的な支援策を出してくることが期待されること

オーストラリアを取り巻く外部環境はまだ不透明ですが、オーストラリア経済のファンダメンタルズ(経済の諸条件、経済の基礎的条件)は安定しており、長期的に高金利通貨である豪ドルへの資金回帰が起こり、豪ドルは堅調に推移するものと予想されます。

金利については、総選挙が実施される9月までは利下げの可能性が残り一進一退のみみあい、株式市場は利下げ効果もあり景気回復とともに徐々に上昇すると見ています。

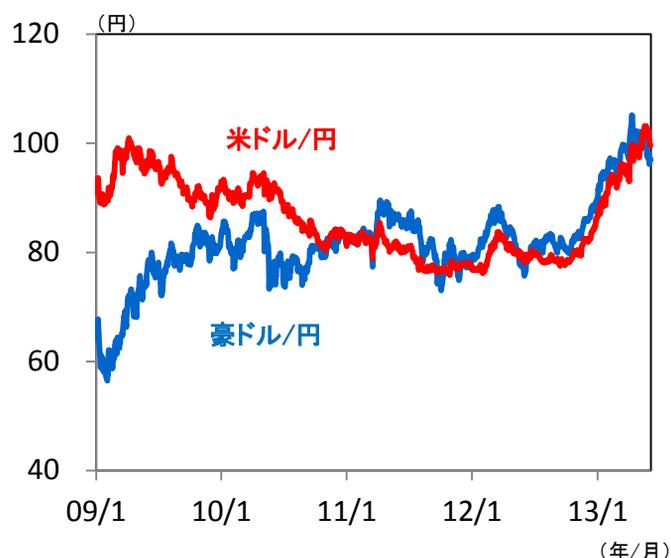
【図表1】 オーストラリア政策金利の推移

(2009年1月1日～2013年6月4日、日次)



【図表2】 米ドル/円と豪ドル/円の推移

(2009年1月1日～2013年6月4日、日次)



出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成